

## 1. 学会発表・学会シンポジウム・講演等

- 衛藤隆「(基調講演)わが国における小児保健80年のあゆみ」第60回日本小児保健協会学術集会(東京), 2013.9. /『小児保健研究』第72巻講演集, 2013, 62.
- 衛藤隆(講演)「育てよう!子どもの心とからだ~子どもの成長と家庭の関わり~」品川区立上神明小学校学校保健委員会, 2013.10.
- 衛藤隆(学会長講演)「連携と強調の時代の学校保健」第60回日本学校保健学会(東京), 2013.11.
- 衛藤隆「学校保健安全法改正後の学校と地域の連携」第60回日本学校保健学会(東京), 2013.11.
- 衛藤隆(特別講演)「スウェーデンの健康教育・性教育~がん教育に関する情報収集旅行から~」東京都医師会学校医会第38回学校医大会, 2013.12.
- 衛藤隆(講演)「学校保健の今後の展望と歯科保健が果たす役割」社団法人日本学校歯科医会役員勉強会, 2014.2.
- 衛藤隆(講演)「学校におけるアレルギー疾患を有する児童生徒の保健管理」第72回東京都皮膚科医会学術集会第46回臨床研究会, 2014.3.
- 堤ちはる・三橋扶佐子・山本恒雄「地域小規模児童養護施設における栄養士の食生活支援の現状と課題について」第60回日本栄養改善学会学術総会(神戸), 2013.9. /『栄養学雑誌』71(第5号特別付録), 2013, 319.
- 堤ちはる・三橋扶佐子・山本恒雄「地域小規模児童養護施設職員の食事業務の現状と支援ニーズについて」第60回日本小児保健協会学術集会(東京), 2013.9. /『小児保健研究』第72巻講演集, 2013, 249.
- 伊藤直香・下条直樹・藤澤隆夫・岩田力「牛乳に対する急速経口免疫療法の1年後経過」第25回日本アレルギー学会春季臨床大会(横浜), 2013.5.
- Itoh-Nagata N., Fujisawa T., Shimojo N., Nagao M., Iwata T. 「Japan Oral Immunotherapy Group (J-OIT): High rate of desensitization and tolerance induction by rush oral immunotherapy for anaphylactic children with egg allergy: a randomized controlled trial」EAACI-WAO World Allergy & Asthma Congress(Milan, Italy)22-26 June, 2013.
- 齋藤幸子・近藤洋子「少子化社会における家族形成支援に関する研究~専門職を対象とした意見調査より、出生前から始まる育児支援について~」第60回日本小児保健協会学術集会(東京), 2013.9.
- 近藤洋子・齋藤幸子・白子純子・宮原忍・田中和子「少子化社会における家族形成支援に関する研究-専門職調査から見た育児支援について-」第54回日本母性衛生学会学術集会(さいたま市), 2013.10.
- 白子純子・齋藤幸子・近藤洋子「大学生における家庭形成意識とその関連要因に関する研究(その3)恋愛観・結婚観について(宮城県内調査)」第54回日本母性衛生学会学術集会(さいたま市), 2013.10
- 平川健一郎・中野玲二・田中里佳・山崎千佳・森裕美・門川真志・林田慎哉・安藤朗子ほか「超早産児の6歳、9歳時予後に影響を与える因子の検討」第49回日本周産期・新生児医学会(横浜), 2013.7. /『日本周産期・新生児医学会雑誌』49(2), 2013, 619.
- 栗原佳代子・恒次欽也・安藤朗子・武島春乃・平岡雪雄・川井尚「父親の育児不安に関する基礎的研究(その1)―子ども総研式・父親育児支援質問紙の作成―」第60回日本小児保健協会学術集会(東京), 2013.9. /『小児保健研究』第72巻講演集, 2013, 163.
- 安藤朗子・恒次欽也・栗原佳代子・武島春乃・平岡雪雄・川井尚「父親の育児不安に関する基礎的研究(その2)―子ども総研式・父親育児支援質問紙スクリーニング版の作成―」第60回日本小児保健協会学術集会(東京), 2013.9. /『小児保健研究』第72巻講演集, 2013, 164.
- 石井のぞみ・安藤朗子・佐藤紀子・加部一彦・山口規容子「当院における極低出生体重児の知的発達予後の判定時期について」第58回日本未熟児新生児学会(石川県), 2013.12. /『日本未熟児新生児学会雑誌』抄録号25(3), 202.
- 平川健一郎・田中里佳・山崎千佳・森裕美・門田真志保・林田慎哉・安藤朗子ほか「超早産児の6歳時における言語性IQ、動作性IQの検討」第58回日本未熟児新生児学会(石川県), 2013.12. /『日本未熟児新生児学会雑誌』抄録号25(3), 205.
- 安藤朗子「長期フォローアップの重要性と支援のあり方についての検討」ラウンドテーブル「極低出生体重児の発達アセスメントと支援の方向」話題提供, 日本発達心理学会第25回大会(京都), 2014.3.
- 益邑千草・衛藤隆・岩田力・堤ちはる・齋藤幸子・安藤朗子・齊藤進・中村敬・加藤忠明・三橋美和・堀井節子・山崎嘉久「妊娠届出時の情報把握に関する市町村調査の概要」第60回日本小児保健協会学術集会(東京), 2013.9. /『小児保健研究』第72巻講演集, 2013, 233.
- 佐藤拓代・松本小百合・益邑千草「乳児家庭全戸訪問事業と地域における子育て感の検討」第60回日本小児保健協会学術集会(東京), 2013.9. /『小児保健研究』第72巻講演集, 2013, 162.

- 益邑千草（座長）「第5分科会 親子保健・学校保健」第72回日本公衆衛生学会（三重），2013.10.
- 益邑千草「乳児家庭全戸訪問事業における訪問拒否等対応困難事例への対応の検討」第72回日本公衆衛生学会（三重），2013.10.
- 三橋美和・堀井節子・益邑千草「非専門職訪問者によるこんにちは赤ちゃん事業の意義と効果的な実施のための工夫」第72回日本公衆衛生学会（三重），2013.10.
- 堀井節子・三橋美和・益邑千草「非専門職の訪問者による『こんにちは赤ちゃん訪問』事業の評価」第72回日本公衆衛生学会（三重），2013.10.
- 山本恒雄「児童相談所における子どもからの事情聴取」「（シンポジウム）子どもの犯罪被害支援 一早期からの支援に焦点をあてて」第12回日本トラウマティック・ストレス学会（東京）2013.5.
- 山本恒雄「虐待通告緊急保護時の子どもへの配慮」「（シンポジウム7）児童・思春期のクライシスレゾリューション」第21回日本精神科救急学会学術総会（東京），2013.10.
- 林浩康「日本型ファミリーグループ・カンファレンスの展開」日本子ども虐待防止学会第19回学術集会信州大会（松本市），2013.12.
- 和田一郎「家族支援及び児童虐待予防事業としてのCSP講座開催の効果測定とその結果について」日本子ども虐待防止学会第19回学術集会信州大会（松本市），2013.12.
- 和田一郎「わが国の子ども虐待の社会的コストの推計」日本子ども虐待防止学会第19回学術集会信州大会（松本市），2013.12.

## 2. 研究論文

- 平山宗宏「連載 わが国の小児保健のあゆみ 第1回」「わが国の小児保健 100年の歴史① 基礎づくりから死亡率低下への手探り時代」『チャイルドヘルス』16(8)，2013，60-61.
- 平山宗宏「連載 わが国の小児保健のあゆみ 第2回」「わが国の小児保健 100年の歴史② 乳幼児死亡率低下に向けての手探りの時代（大正～昭和の初め）」『チャイルドヘルス』16(9)，2013，52-53.
- 平山宗宏「連載 わが国の小児保健のあゆみ 第3回」「わが国の小児保健100年の歴史③ 戦時中～戦後の混乱期」『チャイルドヘルス』16(10)，2013，50-51.
- 平山宗宏「連載 わが国の小児保健のあゆみ 第4回」「わが国の小児保健 100年の歴史④ わが国の再建から医療・保健の進歩の時期」『チャイルドヘルス』16(11)，2013，48-49.
- 平山宗宏「連載 わが国の小児保健のあゆみ 第5回」「戦後 50年で乳児死亡率を世界最低にできた背景を考える①」『チャイルドヘルス』16(12)，2013，48-49.
- 平山宗宏「連載 わが国の小児保健のあゆみ 第6回」「戦後50年で乳児死亡率を世界最低にできた背景を考える②」『チャイルドヘルス』17(1)，2014，52-54.
- 平山宗宏「連載 わが国の小児保健のあゆみ 第7回」「戦後50年で乳児死亡率を世界最低にできた背景を考える③」『チャイルドヘルス』17(2)，2014，56-57.
- 平山宗宏「連載 わが国の小児保健のあゆみ 第8回」「戦後50年で乳児死亡率を世界最低にできた背景を考える④」『チャイルドヘルス』17(3)，2014，60-62.
- 衛藤隆「学校保健安全法と学校保健の課題」『日本医師会雑誌』142(4)，2013，813-815.
- 衛藤隆「今ある資源を最大限活用し、時代のニーズに応じた健康支援を」『よぼう医学』484，2014.
- 堤ちはる「第4回幼児健康度調査について 食生活」『保健の科学』55(8)，2013，528-534.
- Nakazawa T, Khan AF, Yasueda H, Saito A, Fukutomi Y, Takai T, Zaman K, Yunus M, Takeuchi H, Iwata T, Akiyama K. 「Immunization of rabbits with nematode *Ascaris lumbricoides* antigens induces antibodies cross-reactive to house dust mite *Dermatophagoides farinae* antigens」『Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry』77(1)，2013，145-150.
- 赤石記子・舛田美和・岩田力・長尾慶子「調理条件を変えることによる小麦粉調理品中の抗原量の変化 (Effect of Cooking Conditions on the Allergens in Cooked Food Containing Wheat Flour)」『日本調理科学学会誌』46(3)，2013，231-235.
- 岩田力「生活環境の影響と注意点」『月刊母子保健』650，母子衛生研究会，2013，8.
- 岩田力「第19章14 気管支喘息」浦部晶夫・大田健・川合眞一・島田和幸・菅野健太郎編集『今日の処方』改訂第5版，東京：南江堂，2013，1054-1059.
- 益邑千草「高年出産後の社会復帰への支援（特集：高年妊娠・若年妊娠）」『周産期医学』43(7)，2013，875-880.

- 山本恒雄「子ども虐待の現状」『母子保健情報』67, 2013, 1-7.
- 山本恒雄「児童虐待の現状」『保育界』471, 日本保育協会, 2013, 20-23.
- 山本恒雄・岡本正子「性的虐待」『精神科』23(5), 科学評論社, 2013, 517-528.
- 才村純「介護危機—社会福祉の課題と展望」『2013年韓国社会福祉学会春季大会発表論文集』2013, 129-160.
- 才村純「虐待防止における母子保健の課題 - 死亡事例の検証結果からの考察」『子育て支援と心理臨床』7, 2013, 76-79.
- 才村純「子どもの虐待防止を考える—制度と実践の動向と課題」『みちのとも』立教176年9月号, 2013.
- 古山美穂・才村純「市区町村における要支援児童等の援助に関する周産期医療への要望」『大阪母性衛生学会雑誌』49(1), 2013, 40-44.
- 林浩康「里親リクルートを考える前提条件」『里親と子ども』8, 2013, 69-75.
- 林浩康「子どもの最善の利益に適った児童福祉システムの構築」『世界の児童と母性』75, 2013, 15-19.

### 3. 編著書

- 平山宗宏（監修）『予防接種の歴史』東京：予防接種リサーチセンター, 2014.
- 衛藤隆「学校保健安全」「学校環境衛生」「学校安全」「災害防止」「学校給食」若井彌一（監修）『必携教職六法』2015年度版, 東京：協同出版, 2014, 801-809.
- 衛藤隆「アニマル・セラピー」「インフルエンザ」「右脳・左脳」「学校安全計画」「学校医」「学校環境衛生」「学校感染症」「学校保健委員会」「学校保健技師」「看護教育」「近視」「グリーン, L. W.」「健康相談」「予防接種」今野喜清・荒井郁男・児島邦宏編『学校教育辞典』第3版, 東京：教育出版, 2014.
- 堤ちはる「6章 3. 食育」難波光義・杉山隆（編著）『「妊娠と糖尿病」母児管理のエッセンス』京都：金芳堂, 2013, 280-285.
- 堤ちはる「親子の生活全体からとらえる「食」の支援」「V. 栄養・食生活」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2014』東京：KTC中央出版, 2014, 24-25, 163-188.
- 齋藤幸子「子どもの生活実態、本当の豊かさとは」「IX. 子どもの生活・文化・意識と行動」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2014』東京：KTC中央出版, 2014, 32-33, 301-328.
- 斉藤進「子ども・若者と都市」「I. 人口動態と子ども」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2014』東京：KTC中央出版, 2014, 16-17, 39-72.
- 安藤朗子「Ⅲ. 発育・発達」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2014』東京：KTC中央出版, 2014, 93-112.
- 安藤朗子「第4章第4節 家庭訪問保育における子育てアドバイス」巷野悟郎（監修）・公益社団法人全国保育サービス協会（編集）『在宅保育論 家庭訪問保育の理論と実際』第2版, 東京：中央法規出版, 2013, 134-142.
- 益邑千草「健やか親子21」馬場一憲編集『目で見ると妊娠と出産』東京：文光堂, 2013, 244-245.
- 益邑千草「子どもを元気にする運動・スポーツ」「IV. 保健・医療」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2014』東京：KTC中央出版, 2014, 20-23, 113-162.
- 山本恒雄「虐待対応から始まる育児支援の充実」「VI. 子どもと家族の福祉」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2014』東京：KTC中央出版, 2014, 26-27, 189-228.
- 才村純「児童虐待への対応」『教務主任の仕事術2 こんなときどうする?』東京：教育開発研究所, 2013, 142-145.
- 才村純「第6章 児童相談所における法的対応」相澤仁編集代表『児童相談所・関係機関や地域との連携・協働』東京：明石書店, 2013, 86-104.
- 才村純「子ども虐待」巷野悟郎編『子どもの保健第4版』東京：診断と治療社, 2014, 127-130.
- 才村純「第5章 児童家庭福祉制度における組織及び団体の役割と実際」『児童家庭福祉論 - 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』東京：全国社会福祉協議会, 2014, 167-195.
- 才村純「第3章第1節 児童家庭福祉の法体系」「第3章第2節 児童家庭福祉の実施体制」「第3章第3節 児童家庭福祉の費用」『新保育士養成講座第3巻児童家庭福祉』東京：全国社会福祉協議会, 2014, 68-77, 77-92, 93-96.
- 才村純「第6章 児童相談所」芝野松次郎・高橋重宏・松原康雄編著『児童や家庭に対する支援と子ども家庭風潮制度』東京：ミネルヴァ書房, 2014, 107-127.
- 才村純「第I部第3章第1節 子育て家庭の福祉を図るための法制度と社会資源」『保育士養成講座第10巻家庭支援論』東京：全国社会福祉協議会, 2014, 54-67.
- 才村純「第4章 子ども家庭福祉の最近の動向」「第7章2 子ども家庭福祉の実施体制」「第8章1 相談援助システムの現状と課題」高橋重宏・山縣文治・才村純編『子ども家庭福祉とソーシャルワーク - 児童福祉論 第3版』東京：有斐閣, 2014,

95-121, 246-269, 276-281.

- 林浩康「第1章 社会的養護における家族支援の意義と課題」相澤仁編『家族支援と子育て支援』東京：明石書店，2014，19-27.
- 林浩康「序章 族と子どもの育ちの状況」「第3章 相談援助の機能」「第4章 保育の役割と相談援助」「第5章 子どものケアと相談援助」「第6章 相談援助の対象」久保美紀・林浩康編『相談援助』京都：ミネルヴァ書房，2013，1-8，35-47，48-58，59-68，71-74.
- 和田一郎「子どもの貧困対策」「II. 家族・家庭」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2014』東京：KTC中央出版，2014，18-19，73-92.
- 和田一郎「第8章 子ども虐待の経済学」杉山登志郎編著『講座 子ども虐待への新たなケア』東京：学研教育出版，2013，133-149.
- 平岡雪雄「新しい若者像」「XI. 子どもをめぐる生活環境」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2014』東京：KTC中央出版，2014，36-37，365-387.

## 4. 報告書

- 山本恒雄・阪東美智子・森川美絵「婦人相談所の一時保護を利用したケースの概況と対応状況[全国調査結果]」（厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業）『女性・母子の保護支援における婦人相談所の機能評価に関する研究(研究代表者 森川美絵)』平成24年度総括・分担研究報告書，2013，141-211.
- 山本恒雄・大木由則・永野咲・阪東美智子「母子のケア・アフターフォローおよび児童福祉との連携の課題」（厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業）『女性・母子の保護支援における婦人相談所の機能評価に関する研究(研究代表者 森川美絵)』平成24年度総括・分担研究報告書，2013，247-263.
- 山本恒雄・大久保牧子「東日本大震災による被災孤児・遺児と親族里親支援に関する研究」（厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業）『被災後の子どものこころの支援に関する研究(研究代表者 五十嵐隆)』平成24年度分担研究報告書，2013.
- 才村純ほか『子ども虐待による死亡事例等の検証結果について - 社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会第9次報告書』厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課，2014.
- 才村純ほか『平成25年度広島県児童虐待分析調査研究事業報告書』児童虐待分析調査研究事業連絡会議，2014.
- 林浩康・菊池緑「フランスにおける養育困難児の里親委託と乳児院の位置づけ」（厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業）『社会的養護における児童の特性別標準的ケアパッケージ(研究代表者 開原久代)』2013，219-245.

## 5. その他

- 平山宗宏「Interview ワクチン研究者に聞く」『ワクチンジャーナル』1(1)，メディカルレビュー社，2013，42-45.
- 衛藤隆「「肝臓」小児科医リレーエッセイ 武蔵野小児肝臓病懇話会の誕生秘話」『肝臓』54(4)，2013，304.
- 衛藤隆「食事 5歳までの栄養状態が大きく影響する脳の発達」『プレジデントFamily』特別編集，プレジデント社，2013，6-7.
- 衛藤隆「子どもの安全をめぐってー『学校安全の推進に関する計画』とは？ー」『保育界』465，2013，18-19.
- 衛藤隆「私の提言 近見視力検査の意義」『心とからだの健康』17(10)，2013，9.
- 衛藤隆「学校保健にかかわりをもって26年」『小児科臨床』67(1)，日本小児医事出版社，2014，54-56.
- 衛藤隆「(特別講演) スウェーデンの健康教育・性教育～がん教育に関する情報収集旅行から～」『東京都医師会学校医学会会報』235，2014，3-4.
- 堤ちはる「乳幼児の小食・偏食・食べ過ぎの悩み」『月刊母子保健』648，母子衛生研究会，2013，1-3.
- 柳澤正義(編集委員長)・堤ちはる「妊産婦の食生活」「栄養と歯の関係」・五十嵐隆・高橋恵子・中林正雄(編集委員)『母子健康手帳 副読本「赤ちゃん&子育てインフォ」』母子衛生研究会，2013，22-27，70-77.
- 平山宗宏(監修)・多田裕・堤ちはる・長坂典子・中林正雄(指導)「4. 妊娠中の食生活」「6. 母乳で育てる」「7. 粉ミルクで育てる」「8. 離乳食の進め方」『母子保健テキスト』母子衛生研究会，2013，10-11，54-55，56-57，58-59.
- 堤ちはる「vol.4 幼児の食育を考えるー子育て支援の視点からー」『Baby care-report』和光堂，2013，1-12，  
<http://www.wakodo.co.jp/company/report/baby04/>

### Ⅲ. 研究業績編

- 堤ちはる「おやつ 子どもにとってのおやつは体と心を育てる第四の食事」『プレジデントFamily』特別編集, プレジデント社, 2013, 8-9.
- 堤ちはる(シンポジウム4)「現代における幼児期の食生活の諸問題」第60回日本小児保健協会学術集会, 2013. / 『小児保健研究』第72巻講演集, 2013, 84.
- 堤ちはる(市民公開講座2)「親子の生活全体から「食」をとらえて」第54回日本母性衛生学会学術集会(さいたま市), 2013.10. / 『母性衛生』54(3)第54回日本母性衛生学会総会学術集会抄録集, 2013, 127.
- 堤ちはる(監修)「離乳が終わって3歳頃までの子どもの食事」『健康増進のしおり』2013-4, 日本栄養士会, 2014.
- 堤ちはる「将来の健康は幼児期の食事から「栄養セミナー」開催」『城南タイムス』787, 城南タイムス社, 2014.2.2, 2.
- 堤ちはる「リレーコラム 食事の悩みと育児の自信、生活リズムは大いに関係があることをご存知ですか?」『月刊母子保健』659, 2014, 12.
- 安藤朗子「(執筆用語)臨床心理、場面緘黙、多動、チック、分離不安、ラポール、箱庭療法、遊戯療法、セラピスト、臨床心理士」森上史朗・柏女霊峰編『保育用語辞典』第7版, 京都:ミネルヴァ書房, 2013.
- 安藤朗子「チェックリストの紹介⑧ 子ども総研式・父親育児支援質問紙—スクリーニング版—」子育て支援合同委員会(日本臨床心理士資格認定協会・日本臨床心理士会・日本心理臨床学会)監修『子育て支援と心理臨床』8, 福村出版, 2014, 113-116.
- 益邑千草(日本語監修)『2歳児を屋外へ—遊び・学習・発達—(Two Year Olds Outdoors-Play, learning&development-)』(DVD 63分54秒)新宿スタジオ, 2013.
- 益邑千草「訪問拒否など対応が困難なとき」『月刊母子保健』651, 母子衛生研究会, 2013, 9.
- 益邑千草(コメント)「乳児家庭全戸訪問事業における課題について～児童虐待件数増加の関連ニュース～」NHKテレビ『首都圏ニュース』2013.7.25.
- 益邑千草(指導)「体温を測って自分の『平熱』を知ろう」『少年写真新聞』1025, 少年写真新聞社, 2013.
- 益邑千草「体温について」『小学保健ニュース』第1025号付録, 少年写真新聞社, 2013, 1.
- 山本恒雄・曾田等「持続的な成長のための施設職員の人材育成 — 東京都の取り組み」『世界の児童と母性』74, 資生堂社会福祉事業財団, 2013, 22-29.
- 山本恒雄「養育環境をどうみるか 困難を抱えた家族」『児童心理』臨時増刊 975, 金子書房, 2013, 54-58.
- 才村純「第14章 虐待重大事例に学ぶ」『子ども虐待対応の手引き(平成25年8月改訂版)』厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課, 2013.
- 和田一郎「ケアの医療経済学」『医学のあゆみ』248(3), 2014, 238-241.

## 6. 日本子ども家庭総合研究所紀要第49集

### 〔チーム研究〕

2. 子ども家庭福祉行政実施体制の再構築に関する研究  
－再構築に関するこれまでの検討経緯と将来方向－  
柏女霊峰・有村大士・永野 咲ほか
3. 保育形態の多様性と質に関する研究  
岩田 力ほか
4. 児童福祉施設における健康・栄養管理システム構築に関する研究（Ⅱ）  
－地域小規模児童養護施設の食生活の課題と栄養士の支援について－  
堤ちはる・山本恒雄ほか
5. 母子保健活動における継続的支援と母子保健情報の活用に関する研究（Ⅰ）  
－妊娠届出時の情報把握に関する研究－  
益邑千草・齋藤幸子・安藤朗子・斉藤 進・堤ちはる・岩田 力・  
衛藤 隆ほか
6. 少子社会における家庭形成支援に関する母子保健学的研究  
－文献研究および専門職への意見調査－  
齋藤幸子ほか
7. 児童健全育成における児童館機能に関する研究  
－児童館長のキャリアパスに関する研究－  
斉藤 進ほか
- 8-1. 児童相談所等における保護者援助のあり方に関する実証的研究（Ⅴ）  
児童相談所の業務分析に関する研究 Ⅱ  
才村 純・有村大士・山本恒雄・柏女霊峰・永野 咲ほか
- 8-2. 児童相談所等における保護者援助のあり方に関する実証的研究  
山本恒雄・有村大士・永野 咲ほか
9. 乳幼児の発達・行動評定および子育て支援  
－発達障害の早期発見・支援に向けての試案－  
平岡雪雄・安藤朗子・武島春乃ほか

### 〔個別研究〕

- ・極低出生体重児の発達研究（Ⅸ）  
－就学前（6歳）から中学生期（14歳）までの知的発達の推移－  
安藤朗子・平岡雪雄ほか

## 7. 学会および他団体の委員・役員等（平成25年度）

### 平山宗宏（名誉所長）

東京大学名誉教授、東京都感染症予防医療対策審議会委員（会長）、東京都母子保健運営委員会委員（委員長）、日本保健福祉学会顧問、日本小児科学会名誉会員、日本小児保健協会名誉会員、日本公衆衛生学会名誉会員、日本小児感染症学会名誉会員、日本学校保健学会名誉会員、日本感染症学会功労会員、日本新生児学会功労会員、日本母性衛生学会名誉会員、(社福)恩賜財団母子愛育会評議員、日本学校保健会評議員、(財)こども未来財団理事、児童健全育成推進財団理事、肢体不自由児協会評議員、資生堂社会福祉事業財団理事、両宮福祉財団理事

### 柳澤正義（名誉所長）

国立成育医療研究センター名誉総長、(公社)日本小児科学会名誉会員、(特非活)日本小児循環器学会名誉会員、(一社)日本周産期新生児医学会功労会員、(公社)日本小児保健協会代議員・監事、(一社)日本小児精神神経学会名誉会員、日本心臓病学会功労会員、(社)日本専門医制評価・認定機構監事、健やか親子21推進協議会委員（副会長）、厚生労働省脳死下での臓器提供事例に係る検証会議委員（座長）、厚生労働省小児がん拠点病院の指定に関する検討会委員、コンサータ錠適正流通管理委員会委員（副委員長）、東京都小児がん診療病院検討会委員、東日本大震災中央子ども支援センター特別顧問、(社福)恩賜財団母子愛育会・評議員、(公財)母子衛生研究会評議員長、月刊「母子保健」編集委員長、(公財)日本国際医学協会理事長、(公財)日本心臓血圧研究振興会評議員、(公財)小児医学研究振興財団理事長、(公財)川野小児医学奨学財団常務理事、(公財)ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン理事長、(特非活)“遊びとつけ”推進会理事長、(特非活)臨床研究の倫理を考える会理事（副理事長）、にっぽん子育て応援団企画委員

### 衛藤 隆（所長）

東京大学名誉教授、大阪教育大学客員教授、埼玉大学教育学部非常勤講師、中央教育審議会委員（スポーツ・青少年分科会長）、日本医師会学校保健委員会委員（委員長）、厚生労働省「葉害を学び再発を防止するための教育に関する検討会」構成員（座長）、厚生労働省「葉害・食品衛生審議会」専門委員（献血推進調査会座長）、環境省「エコチル調査企画評価委員会」委員、文部科学省統計調査協力者（統計分析アドバイザー）、文部科学省「今後の健康診断の在り方等に関する検討会」委員（座長）、文部科学省「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議」委員、文部科学省「学校保健及び学校安全表彰審査会」委員、神奈川県「母子保健対策検討委員会」委員（委員長）、港区「保健所運営協議会」委員、杉並区教育委員会「杉並区立学校歯と口の健康づくり検討会」委員（委員長）、公益社団法人日本小児保健協会理事、日本健康教育学会理事長、日本セーフティプロモーション学会理事長、一般社団法人日本学校保健学会理事長、日本小児科連絡協議会「子どもをタバコの害から守る」合同委員会委員（委員長）、日本小児科連絡協議会健康診査委員会委員、日本小児皮膚科学会学校保健委員会委員、東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター協力研究員、お茶の水女子大学附属高等学校学校医、(社福)新生寿会理事、(財)母子衛生研究会「母子保健功労顕彰会・母子保健奨励賞」審査委員、(社)日本小児保健協会平成22年度幼児健康度調査委員会委員、日本小児肝臓研究会運営委員、武蔵野小児肝臓病懇話会世話人、特定非営利活動法人「日本健康教育士養成機構」理事、(公財)日本学校保健会「学校保健情報提供委員会」委員、(公財)日本学校保健会「エイズ教育検討委員会」委員、(公財)日本学校保健会「学校生活における健康管理に関する調査委員会」委員（委員長）、(公財)日本学校保健会「健康教育推進学校表彰事業審査委員会」委員、(公財)日本学校保健会「保健学習授業推進委員会」委員、(財)電気安全環境研究所電磁界情報センター「電磁界による健康影響についての情報提供に関する検討会」委員（委員長）、公益社団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団審査委員、(公社)母子保健推進会議理事、子宮頸がん征圧をめざす専門家会議委員、ホワイトリボン・ジャパン（運営団体）、一般社団法人「ニュートリション運動推進会議 子どもの健康づくり委員会」理事、(株)東京医学社 雑誌「小児内科」編集委員、「母子保健情報」編集委員会委員、「子ども家庭福祉情報提供事業（愛育ねっと）」企画委員会委員（委員長）

【所属学会】日本小児科学会、日本肝臓学会、日本小児栄養消化器肝臓学会、日本小児肝臓研究会、日本小児保健協会、日本公衆衛生学会、日本学校保健学会、日本健康教育学会、日本安全教育学会、日本思春期学会、日本小児皮膚科学会、日本小児眼科学会、International Union for Health Promotion and Education

### 堤ちはる（母子保健研究部栄養担当部長）

青山学院大学非常勤講師、日本社会事業大学非常勤講師、日本栄養改善学会評議員、日本小児保健協会代議員、日本小児保健協会編集委員会委員、日本小児保健協会栄養委員会委員、日本小児保健協会乳幼児健診システム委員会委員、日本

小児保健協会平成22年度幼児健康度調査委員会委員、日本小児保健協会実践活動助成賞選考委員、日本健康・栄養システム学会理事、日本健康・栄養システム学会誌編集委員会委員、日本健康・栄養システム学会臨床栄養師研修委員会委員、日本健康・栄養システム学会臨床栄養師カリキュラム委員会委員、日本健康・栄養システム学会内部評価委員会委員、日本保育園保健協議会専門委員（栄養）委員、日本健康・栄養食品協会認定健康食品認定審査員、母子衛生研究会月刊「母子保健」編集委員、日本小児科連絡協議会栄養委員会委員、日本小児科連絡協議会栄養委員会小児疾患治療用ミルク安定供給ワーキンググループ委員、日本小児科連絡協議会健康診査委員会委員、東京都小児保健協会幹事、日本学校保健会学校健康手帳改訂委員会委員、東日本大震災中央子ども支援センター本部事務局員

【所属学会】日本小児保健協会、日本栄養改善学会、日本栄養・食糧学会、日本公衆衛生学会、日本家政学会、日本健康・栄養システム学会、日本ビタミン学会、日本調理科学会、日本学校保健学会

### 岩田 力（小児保健担当部長）

東京家政大学家政学部児童学科教授、東京家政大学大学院人間生活学総合研究科教授、東京大学非常勤講師、日本小児保健協会代議員、日本小児感染症学会名誉会員、日本アレルギー学会功労会員（定款・細則検討委員会委員長（平成25年5月10日迄）、専門医制度委員会委員長（平成21年6月4日まで）、推薦委員会委員および学術賞選考委員会委員長（平成24年5月まで）選挙管理委員会委員）、日本小児皮膚科学会監事、東京都大気汚染医療費助成検討委員会委員、東京都アレルギー疾患対策検討委員会子どものぜんそく対策検討部会委員、東京都文京区公害診療報酬審査会委員、NPO法人PIDつばさの会副理事長

### 齋藤幸子（主任研究員）

日本小児保健協会代議員、東京都小児保健協会理事、神奈川県子育て活動活性化推進事業運営委員

【所属学会】日本小児保健協会、日本母性衛生学会、日本公衆衛生学会、日本保育学会

### 斉藤 進（主任研究員）

大正大学非常勤講師、日本健康教育学会監事・評議員、健康社会学研究会運営委員、松戸市次世代育成支援行動計画推進委員・事業評価委員、松戸市子ども・子育て会議委員、平成25年度子どもゆめ基金審査委員・交流体験活動第2専門委員

【所属学会】日本小児保健協会、日本公衆衛生学会、日本健康教育学会、日本家族社会学会、佛教文化学会、健康社会学研究会

### 安藤朗子（主任研究員）

東京都小児保健協会幹事、日本小児保健協会代議員 全国保育サービス協会資格認定審査委員会委員、母子保健研修センター助産師学校非常勤講師

【所属学会】日本発達心理学会、日本心理臨床学会、日本小児保健協会、日本子ども虐待防止学会、日本小児精神神経学会、日本乳幼児医学・心理学会、日本未熟児新生児学会、日本周産期・新生児学会、ハイリスク児フォローアップ研究会

### 益邑千草（主任研究員）

聖心女子専門学校非常勤講師、東洋英和女学院大学大学院非常勤講師、日本公衆衛生学会査読委員

【所属学会】日本小児科学会（大阪小児科学会、東京都地方会）、日本小児神経学会、日本社会福祉学会、日本小児保健協会（東京都小児保健協会）、日本保健福祉学会、日本子ども虐待防止学会、日本ダウン症療育研究会、療育研究小児科医会、SSPE青空の会、子と親のQOL研究会主宰

### 山本恒雄（子ども家庭福祉研究部長）

東京都児童福祉審議会委員、社会福祉法人横浜博萌会子どもの虹情報研修センター企画評価委員、千葉県健康福祉部家族関係支援事業スーパーバイザー、兵庫県児童虐待等対応専門アドバイザー、日本子ども虐待防止学会理事・事務局長、日本子ども家庭福祉学会理事

### 才村 純（ソーシャルワーク研究担当部長）

関西学院大学大学院人間福祉研究科教授及び人間福祉学部教授、神戸大学医学部保健学科非常勤講師、上智大学総合人間科学研究科非常勤講師、社会保障審議会専門委員、社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会委員長、日本虐待・思春期問題（子どもの虹）情報研修センター運営委員長、日本虐待・思春期問題（子どもの虹）情報



### Ⅲ. 研究業績編

研修センター企画評価委員、虐待・思春期問題(子どもの虹)情報研修センター指導講師、兵庫県児童虐待等対応専門アドバイザー、大阪府子ども施策審議会社会的養護体制整備計画策定部会部会長、大阪府社会福祉審議会専門委員(児童福祉専門分科会児童措置審査部会点検・検証チーム座長)、千葉県児童虐待対応専門委員、静岡県被虐待児等支援視閲あり方検討委員会委員、奈良県児童虐待検討会委員、奈良県スーパーアドバイザーチーム委員、川崎市要保護児童対策地域協議会代表者会議委員長、尼崎市子ども・子育て審議会会長、堺市教育委員、堺市社会福祉審議会委員児童福祉専門分科会子ども虐待検証部会部会長、宝塚市要保護児童対策地域協議会会長、特定非営利法人児童虐待防止協会理事、財団法人大阪府地域福祉推進財団理事、法務省地方法務局人権擁護課長研修指導講師、全国社会福祉協議会中央福祉学院社会福祉主事資格認定講習指導講師・児童福祉司資格認定通信課程指導講師、(財)地域社会振興財団健康福祉プランナー養成塾指導講師、日本子ども虐待防止学会理事(副会長、事務局長)、(社)日本社会福祉学会代議員、

【所属学会】日本子ども虐待防止学会、日本社会福祉学会、日本子ども家庭福祉学会、日本こども環境学会、大阪母性衛生学会、日本思春期学会

#### 林浩康(子ども家庭政策研究担当部長)

日本女子大学教授、厚生労働省社会保障審議会児童部会臨時委員、社会的養護専門員会委員、川崎市児童福祉審議会委員、日本子ども家庭福祉学会理事

#### 和田一郎(主任研究員)

日本子ども家庭福祉学会査読委員、上智社会福祉専門学校非常勤講師

【所属学会】日本子ども虐待防止学会、日本犯罪学会、日本子ども家庭福祉学会、日本公衆衛生学会、日本社会福祉学会

#### 平岡雪雄(愛育相談所長)

東京医療福祉大学非常勤講師、こどもの虹情報研修センター運営委員

【所属学会】日本心理臨床学会、日本小児保健協会